

図書館だより

泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
七城公民館図書室 日曜日・祝日
旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつばやき

寒い日が続きますね。あたたかい図書館で、ゆったりと読書をたのしみませんか？ メロン



新着・お薦め図書

泗水図書館

大原御幸	林真理子 著
サラバ!	西加奈子 著
べんけい飛脚	山本一力 著
肉小説集	坂本 司 著
「知」の読書術	佐藤 優 著
私、農家になりました。	三好かやの・他 著
おしゃれ教室	アン・ファイン 作
ムーン・ジャンパー	モーリス・センダック 絵

中央公民館図書室

美味しい梅干し・梅酒の作り方と梅料理	杵島直美 監修
絵解きで調べる田んぼの生きもの	向井康夫 著
奇跡のおやじ・デジタル入門	桐山秀樹 著
鼻に挟み撃ち	いとうせいこう 著
乗合船	北原亜以子 著
おばけのうらみはらします	むらいかよ 著
ねことさかなでねごさかな	わたなべゆういち 作

七城公民館図書室

億男	川村元気 著
オペラ座のお仕事	三澤洋史 著
トラさん、あばれる	ピーター・ブラウン 作
パンのミニたろう	及川賢治・他 作

旭志公民館図書室

アイネクライネナハトムジーク	伊坂幸太郎 著
貴様いつまで女子でいるつもりだ問題	ジェーン・スー 著
おたすけこびととあかいボタン	なががわちひろ 文
おかあさんのパンツ	山岡ひかる 作

第5回読書感想画・ブックレターコンクール ブックレター中学3年生の部

金賞

幸せの翼

ジミー 作・絵



旭志中学校3年 田崎 優さん

この本を読んで思ったことは、まず最初に絵がかわいいなと思いました。この本は「幸せ」についての本だと思います。自分の背中に羽が生え始めて翼になったときに、「幸せってどういうことだろう」と考えさせられました。自分にとっての幸せとは何かを考えてみると正直言って分かりません。でも心が落ちついたときに「これが幸せなのかな」と思います。その瞬間を大切にしていきたいです。

印象に残ってる場面の一つは、翼が生えて主人公の生活が不便になって、翼が勝手に飛べないように頑張ったり、翼を取ってもまた生えてきたりするところです。二つ目は絵についてですが、翼が生えたときの洋服がカラフルで見ていて楽しいところです。その他、細かいところまで見ると違う本の主人公が出ていて仕掛けが面白い絵本だと思います。

この本は、絵もあるけど内容もしっかりしている本です。なぜ絵があった方がいいかと言うと、想像しやすいからです。絵がかわいくて楽しめると思います。

目より情報

桜の里菊池

～桜のメッセージ絵本をつくろう!～

世界に1つしかない桜の形をした絵本を作ってみませんか?

テーマ 「ありがとう、だいすき」

とき 3月8日(日)・15日(日) 午前10時～正午

ところ 市内図書館(室)

申込期間 1月5日(月)～1月24日(木)

定員 図書館(室)ごとに5人 ※参加者多数の場合抽選します。

申込方法 参加用紙に必要事項を記入し、参加したい図書館(室)にお申し込みください。

※小学3年生以下は保護者同伴で参加してください。

※作品は1カ月間、図書館(室)に展示します。



蔵書点検のため全ての図書館(室)を休館します

休館する期間 1月26日(月)～2月4日(木)までの10日間

休館中は、本の貸出・返却・検索、調べもの、相談業務にはお答えできません。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

万句の里俳句会 11月例会
もう風の誘ひに乘れぬ枯尾花 宮本 雅子
留守宅とわかる高なり庭落葉 松永 久子
見上げては紅葉見下ろしてもみぢ 中路 郁子
葛紅葉白き旧家の倉包む 田中ひさ子
寂寥の端に温もり草紅葉 光本とよいち
せせらぎ俳句会 11月例会
テレビより新酒仕込みの唄流れ 藤本アツ子
そぞろ寒肩を寄せ合ひ小学生 五丁 義昭
掃き寄せの落葉の上の日向猫 村山 数恵
菊人形の襟元の黄の氣品かな 藤本 邦治
日本晴皇帝ダリア君臨す 寺本 和子
旭志文芸教室俳句の会11月詠草
一期一会京都名利神無月 水谷 ミネ
庭先に今年も来たり尉鶴 芹川のり子
十五夜の月に守られ孫帰る 中尾ヨシコ

新米を神より先に頂きぬ 芹川 蓉子
肥後狂句桜会 11月例会
面白エ 東大卒がはまる農 光堀 善教
面白エ 孫のゲーム機取り上げち 上村 ○子
名人芸 足洗うたら錠前屋 小川 繁美
真に受けて 病氣氣にして寝込みし 狩野 本六
正念場 俺が前では吸いやすな 窪田 明徳
肥後狂句水笑会 11月例会
嗅ぎ付けて 特ダネ記者が食いついた 続 義昭
気が合うて 会うて三日で夫妻でな 宮上 美由
頭んよさ 呑んべーの子で思われん 井手 水光
肥え過ぎて ゴムひもなつと継ぎ足 御手洗三代
肥え過ぎて 棺桶見たりや二重底 山隈 好茶
七城短歌会 11月詠草
秋桜の揺るるに合わせ群れなせる蜜 蜂飛び交い花芯を狙う 下川 つぎ

カーブミラーにボツボツ押し来るシ ルバーカー瞬時惑えり我が姿なるを 高木 精
菊花展歌友の金銀入賞を聞いて踵を 返し見直す 池田カヅ子
コスモスの花咲く河原にはしゃぐな りディの友等と弁当開きて 木下 陽子
溪谷路過ぐるに朝の日差す峰の紅葉 映えて速度を落とす 佐々 重弘
「里」短歌会 11月詠草
あの友にこの友にも会いたしと会え ば元氣の笑顔に安堵 山城 雅子
冬近く心ばかりが急ぎをれど成し得 ぬことの多き毎日 梶原美智代
高き地位放ちこの地で「唯識」をひ たに説かるる薬師寺長老 宮本 淑子
果てしなく続く灰色のシルクロード 独り求道の三蔵法師よ 林 淑子
聖護寺に木洩れ日受けし尼僧の碑耐 えし悲しみやさしく包む 桑野 睦子
菊池短歌会 12月詠草
様々の事重なりし夏も行くコカリナ の音ホールに流るる 古賀 勝士
秋気澄む山の輪郭整へて降雪の季待 つ鞍岳か 中川 愛子



冬の魚捌かれてなほ洩き目よ独りの 夕餉作るも長し 中原ちえ子
四世代続きし歳月香かなり 未だ鍋 釜在り処に光る 村上さき江
今日も又産んで呉れたる寒卵恵みの 如き淡き紅色 山下 菊代

